

## 採択理由

プログラム名：重要政策課題への機動的対応の推進  
(課題2) ライフサイエンスの先端科学技術が  
社会に与える影響の調査研究

課題名：遺伝子組換え技術の国民的理解に関する調査研究

代表者名：鎌田 博

所属機関名：筑波大学

---

## コメント

本提案は、遺伝子組換え作物・食品（GMO）に対する国民的理解の阻害及び促進要因を多角的、実証的に分析し、具体的な理解増進施策を提言しようとする計画である。社会的・国際的状況が大きく変化しつつある GMO に対する国民的理解に関して、EU 等海外の動向調査に加え、ステークホルダーの構造や社会的受容を規定する心的要因といった国民意識等に関する調査研究、さらには教育や理解増進手法の開発までを含む広範囲で意欲的な提案であり、必要性が高くかつ時宜を得た提案と判断された。また研究体制も幅広い参画者を含むものであり、意欲的な取り組みを期待する。

なお、実施にあたって、総合科学技術会議ライフサイエンスプロジェクトチーム（PT）に対して年1回程度、報告を行う計画とする。また、これまでに行われてきた種々の調査・議論を十分に踏まえ、その上でどのような新たな視点を導入するのかをより明確にすることが必要である。さらに、科学情報の発信・対話の手法（サイエンスコミュニケーション）の在り方についても十分に検討することが望まれる。